平成 30 年度　事業報告書

平成 30 年度は、利用者へのサービスの向上、きよみず苑の人員補強、栄光会事務業務の効率化と経費の削減、特養のサテライト機能の促進と在宅サービス部門の連携強化を図るため、８月に法人本部事務室を東旺苑からきよみず苑に移設、加えてケアプランセンターをきよみず苑３階から４階へ移設、１月には栄光会の組織体制を現在の体制（拠点施設体制→サービス種別体制）へと改編をおこなった。

これらの改革と各部署の取組成果や努力により前年度よりも収入実績を向上させたが、１０月からの給食会社の委託管理費の値上げや人件費の適正化が目標に届かず最終的に収支の黒字転換を果たすことはできなかった。しかしながら年度末決算において前年度と比して約１千６百万円の収支改善をおこなうことができた。

また地域への貢献活動として従来からの配食サービス事業や自治連町内活動への参加に加え、地域住民を巻き込んでの夏祭りや餅つき大会の開催、山科区の市老協地域貢献プロジェクト参画など積極的に取り組んだ。

➢　法人本部

1　職員の確保、育成

・介護業界が慢性的な職員不足の中、栄光会においても人材確保が困難な中、採用者数 26 名、退職者 23 名と採用者が退職者をわずかではあるが上回り、人員不足に一定歯止めを掛け、安定した人材の確保に向かうことが出来た。
新卒採用においては、就職フェアへの積極的な参加、福祉学科以外の大学生および福祉学科の専門学校・高校へのアプローチ、ネットでの採用活動を行い、約 20 名とのコンタクトを続け 2 名の採用内定を出すも、結果入職には至らず、次年度の採用への課題となった。
中途採用では、採用経費の膨らみの低減を意識し、求人広告掲載を吟味し抑え、ハローワークへの求人を細やかに操作、結果、中途採用 25 名のうち 14 名をハローワークから確保できた。今後も人材の動く時期を機敏に捉え意識していく。

・数年に渡り続けている人材確保に対する国の助成制度「キャリアアップ助成金」制度について、昨年の正規職員へ 3 名の転換に続き、本年は派遣から 3 名、非正規職員から 1 名、合計 4 名が正規職員へ転換できた。また、育成において法人の制度「資格取得支援制度」の利用が延べ 9 名、上位資格取得 7 名、資格更新 2 名のキャリアアップと良好な結果となった。

2　経費の効率化

・適正な人員配置と人件費に関して、派遣職員の見直しを第一に採用活動を行ってきたが、人材不足の業界において、充分な直接雇用にいま少し時間が必要な状況である。しかしながら、年度末同時期において派遣 2 名の削減結果を出せ、次年度においても派遣削減と直接雇用の推進により人件費の適正化を進めて行く。

・東旺苑、きよみず苑での事務部門の業務分担について、法人本部のきよみず苑移設に伴い、双方の協力体制など、さらに効率化が進んできた。

・経費削減について、前年度については大量消費の消耗品の価格交渉による削減があったが、本年については他に大量消費の品目が少なく、目だった大きな削減品目はなかったが、細かなもの一つずつに、価格面も含め、できる限り共通品に集約するなど、それぞれ費用対効果を顧慮しつつ削減に向け取り組めた。

3　法人合同研修の開催

・計画に沿い、合同研修を開催してきたが、特にリスクマネジメント研修については、外部講師招聘で、より具体的な研修を展開でき、且つ最大限の職員の参加により、新たな知識の浸透が計れた。
接遇研修、コンプライアンスと人権の研修においても、繰り返し実施することにより、ご利用者様への応対力の低下防止と、より良い応対力のＵＰとして必要不可欠になってきている。

➢　特別養護老人ホーム　東旺苑

平成 30 年度は、前年度に引き続き、算定加算の継続に努めるとともに、入所希望者を随時受け付けて定期的な入所判定会議を行うことにより円滑な入・退所に努めた。嘱託医及び看護職員との連携を密に行い異常の早期発見・早期治療に努めたが利用者の高齢化・重篤化により入院者数は前年度並みであったが入院日数については前年度を上回る結果となった。

また 12 月度に京都市実地指導、きょうと福祉認証制度の更新、1 月度に第三者評価の受審を受けた。

1　入居の状況（平成 30 年度）

	入居者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4 月	10	41	51	1,500	1,452	96.8
5 月	10	41	51	1,550	1,512	97.5
6 月	10	40	50	1,500	1,469	97.9
7 月	10	40	50	1,550	1,540	99.4
8 月	10	40	50	1,550	1,488	96.0
9 月	10	41	51	1,500	1,388	92.5
10 月	10	41	51	1,550	1,496	96.5
11 月	10	41	51	1,500	1,447	96.5
12 月	10	40	50	1,550	1,503	97.0
1 月	10	40	50	1,550	1,520	98.1
2 月	10	41	51	1,400	1,333	95.2
3 月	10	40	50	1,550	1,541	99.4
合計	120	486	606	18,250	17,689	**96.9**
平均	10	40.5	50.5	—	—	—

参考　平成 29 年度　年間合計充足率 **97.7**%

2　入院の状況（平成 30 年度）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
人数（人）	3	3	2	1	5	6	
延人日（人日）	44	33	21	9	62	85	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数（人）	3	3	4	5	5	1	**41**
延人日（人日）	54	45	42	27	67	9	**498**

参考　平成 29 年度の入院者数は、延べ **40** 人で、延べ日数は **356** 人日

3　入・退居の状況（平成 30 年度）

入居					退居				
在宅	老健	病院	緊急措置	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
3	3	5	1	**12**	2	2	7	0	**12**

参考　平成 29 年度の入・退居は **6** 件で、入院中退所は **1** 件

4　入居者の介護度（平成 30 年度）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	割合
介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
介護度 2	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2.5%
介護度 3	20	19	19	14	14	15	15	16	15	14	14	13	31.0%
介護度 4	14	15	15	15	15	15	12	12	11	11	8	8	24.9%
介護度 5	17	17	16	20	20	20	22	21	22	23	27	27	41.6%
平均	3.94	3.96	3.94	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	**4.1**

参考　平成 29 年度の介護度は 1 から 0.17%・0%・42.3%・24.6%・33%、平均介護度は、**3.9**

5　入居者の年齢構成（平成 30 年度末現在）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	0	0	7	9	15	12	5	2	50
割合	0%	0%	14%	18%	30%	24%	10%	4%	100%

平成 30 年度末の平均年齢は、87.5 歳

参考　平成 29 年度末の平均年齢は、87.5 歳

6　入居者の入居期間（平成 30 年度末現在）

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	
人数	10	5	13	8	4	3	1	
割合	20%	10%	26%	16%	8%	6%	2%	
	7 年～	8 年～	9 年～	10 年～	15 年～	20 年～	25 年～	計
人数	1	0	2	2	0	0	1	50
割合	2%	0%	4%	4%	0%	0%	2%	100%

7　保険者の状況（平成 30 年度末現在）

	山科区	伏見区	東山区	上京区	大津市	北区	右京区	中京区	向日市	門真市	計
人数	35	5	3	1	1	1	1	1	1	1	50
割合	70 %	10%	6%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	100%

➢ 特別養護老人ホーム東旺苑（ショートステイ）

平成 30 年度において、緊急的なニーズへの対応・新規利用者（14 名）の受入を積極的に行うと共に継続利用者の確保に努めた。年度初めは継続利用者の入院等で稼動が低下したが、その後は特養の空床利用を積極的に活用する事で、引き続き高水準の稼働を維持した。

1　利用の状況（平成 30 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	2	9	11	120	106	88.3
5 月	1	9	10	124	101	81.5
6 月	2	10	12	120	127	105.8
7 月	0	12	12	124	128	103.2
8 月	3	11	14	124	149	120.2
9 月	1	11	12	120	124	103.3
10 月	2	11	13	124	158	127.4
11 月	2	10	12	120	149	124.2
12 月	5	10	15	124	129	104.0
1 月	1	9	10	124	121	97.6
2 月	2	9	11	112	138	123.2
3 月	0	11	11	124	151	121.8
合計	21	122	143	1,460	1,581	
平均	1.8	10.2	12	121	132	**108.3**

参考　平成 29 年度の新規利用者は 7 名、平均利用者数は 12 名、稼働率は **129.8%**

2　介護度別の延利用者数（平成 30 年度）

（日）

	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	6	35	44	21	0	147	2.82
5 月	16	43	24	18	0	167	2.6
6 月	27	34	44	22	0	158	2.67
7 月	8	43	52	25	0	163	2.58
8 月	8	43	53	28	17	155	3.14
9 月	10	43	52	19	0	158	2.75
10 月	0	59	47	52	0	166	3.0
11 月	10	51	58	30	0	163	2.75
12 月	0	66	31	32	0	156	3.07
1 月	0	62	43	16	0	168	2.7
2 月	0	74	36	28	0	149	2.91
3 月	0	58	43	35	15	151	3.18
合計	85	611	527	326	32	1,581	
平均	7.1	51	44	28.2	2.7	131.8	**2.85**

参考　平成 29 年度の平均介護度は **2.72**

3　利用者の年齢構成（平成 30 年度末現在）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	2	0	1	3	4	5	7	5	27
割合	7.4%	0%	3.7%	11.1%	14.8%	18.5%	25.9%	18.5%	100%

➢ **配食サービス事業**

上半期は新規の問合せが非常に多く受入れ調整を行った。１月以降死去される方や介護サービス導入等の理由で利用者が減少したが担当介護支援専門員等に空き情報を発信した結果、前年度実績を上回った。

利用の状況（平成 30 年度）　（単位：食）

	要介護（500 円）	同居（670 円）	自立（750 円）	合計
4 月	370	—	—	370
5 月	399	—	—	399
6 月	402	—	—	402
7 月	406	—	—	406
8 月	382	—	—	382
9 月	398	15	—	413
10 月	443	3	—	446
11 月	407	—	—	407
12 月	436	—	—	436
1 月	427	14	—	441
2 月	384	14	—	398
3 月	420	—	—	420
合計	4,874	46	—	4,920
1 日平均	13.4	0.13	—	**13.5**

参考　平成 29 年度は、1 日平均 **11.2** 食

○研修受講状況（平成 30 年度）

施設内研修

4 月	法人合同研修（人事考課制度と人材育成）
7 月	熱中症・脱水・食中毒について
10 月	認知症ケアについて
11 月	法人合同研修（接遇マナー研修）、自衛消防訓練（夜間想定）
12 月	インフルエンザウィルス・ノロウィルス勉強会
2 月	体位交換・陰部洗浄・身体拘束について 法人合同研修（利用者人権のための法令遵守）
3 月	法人合同研修（事故対応力と事故予防スキル）、 自衛消防訓練（昼間想定）、土砂災害に係る避難訓練、 アンガーマネジメントとリスクマネジメント（伝達研修）

施設外研修

4 月	市老協 食事部会（リハビリ栄養について）
5 月	採用力向上研修、福祉職のためのマナー研修（初級）
6 月	社会福祉援助入門講座、チームで取り組む褥創対策・医療安全対策 老人福祉施設看護職・介護職等研修、 キャリアパス対応研修（チームリーダー）、市老協 食事部会（工場見学）
7 月	市老協 食事部会（介護保険改定について）、OJT リーダー育成研修
9 月	ファシリテーション研修、OJT リーダー育成研修
10 月	福祉リーダーの極意を学ぶセミナー、急性期病院での栄養士業務について
11 月	福祉サービス苦情解決セミナー、高齢者の在宅栄養について、 高次機能障害セミナー、京都市認定調査印現任研修、市老協介護みらいフェス
1 月	対人援助職のためのメンタルヘルス、リスクマネジメント研修 市老協 食事部会（子供の食育）、アンガーマネジメント研修
2 月	施設長等管理者セミナー、ケース記録の基礎と展開
3 月	市老協 食事部会（看取り期の食事）

○行事実施状況（平成 30 年度）

4 月	入浴レク（桜湯）、おやつレク（いちご大福）
5 月	緑旺祭、茶話会（そらの木）
6 月	保育園児交流会、おやつレク（水無月）、マッサージ慰問
7 月	七夕レク、流しそうめん、おやつレク（カキ氷）
8 月	おやつレク（アイス）、盆法要
9 月	入浴レク、敬老会、おやつレク（パンケーキ）
10 月	清水焼まつり外出レク、介護等体験受入、花火大会、食事レク（お好み焼き）
11 月	音楽レク、紅葉レク、おやつレク（焼き芋）
12 月	クリスマス会、もちつき大会、保育園児交流会、バプテスト教会慰問
1 月	初詣出レク（東旺苑神社）、おやつレク（たこせんべい）
2 月	おやつレク（焼きたてパン）、節分レク
3 月	ひな祭レク、おやつレク（おはぎ）、桜湯レク、食事レク（うどん）

○介護全般

①慢性的な人員不足、職員定着率の向上及び入居者の重度化への対応として業務改善・効率化を図る

職員定着率については目立った離職もなく経過したが、業務改善や業務効率化については課題が残る。

②栄養課との連携について

毎月実施できたが、栄養士任せの企画が多く、介護主体での企画実施が課題である。

③職員教育と入居者へのケアの向上について

人事考課制度の活用を心がけているが、職員教育については人員不足の問題もあり段階的な指導は難しい現状にあるが、外部研修に積極的に参加し伝達研修を実施することができた。

○ケアマネジメント関連

①施設サービス計画書について

基本 6 ヶ月毎に見直しをしているが、入院等により解決すべき課題が生じた場合は速やかに見直しを実施している。また、新規入所者に関しては入所日までに仮プランを作成し入所後 10 日前後で見直しプランを作成しその後 3 ヶ月毎に見直しを実施しており課題整理統括表の作成にてニーズの引き出しを実施した。また全てのケアプランにおいて管理栄養士の協力の元、栄養プランと連動している。

②サービス計画進行管理表について

前年度に引き続き作成しプラン作成における不備防止に努めた。

③介護保険更新申請について

有効期間の満了に向け滞りなく実施し、また心身の状態変化等に伴う区分変更申請も適宜実施した。

④相談員業務(兼務)について

相談員の元、協力し業務に努めた。

〇栄養士関連

①栄養ケアプランより

新規入所者のカンファレンスに家族様や本人の参加を積極的に実施、家族来苑時に現状を伝えており、また高リスクの利用者については月 2 回の体重測定を実施、リスクの細分・把握・管理に努め、プランの連動を介護支援専門員と実施している。

②給食について

会議に介護職員の参加を促し現場の意見を反映させており、栄養士自身も日々ラウンドしている。厨房職員と施設職員の交流・意見交換に努め節電・節水にも取り組んでいる。

③その他

・毎日ラウンドし日々の利用者情報の把握に努めている。
・食品衛生指導について、法人合同研修に取り入れ実施している。
・栄養士だよりの作成、年次で嗜好調査を実施し公表している。

〇医務関連

・主治医との連携に努める事で利用者の異常の早期発見・早期治療に取り組み、入院者数は前年度並みであったが、それぞれの利用者の高齢化・重症化に伴い入院日数は前年度を上回る結果となった。
・インフルエンザに関して、室温・湿度管理の徹底を行うことで、苑内で発病者を 1 名も出すことなく経過できた。
・研修及び委員会を通して服薬マニュアル、感染症マニュアルの見直しを行った。

➢　介護老人福祉施設　きよみず苑

平成 30 年度は、入院中の入居者の居室を短期入所で利用する試みを実施。また入所選考会議の結果を基に円滑な入退所援助を行うことで、前年度より充足率を向上させることができた。

地域への開放を目的としてびわこ花火大会に合わせ夏祭りを実施。花火鑑賞の為、屋上を開放し約 40 名の近隣住民に参加して頂く事ができた。　9 月度には京都市実地指導を受け大きな問題なく経過している。

1　入居の状況（平成 30 年度）

	入居者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	充足率（%）
	男性	女性	合計			
4 月	3	26	29	870	867	99.7
5 月	3	26	29	899	893	99.3
6 月	3	26	29	870	831	95.5
7 月	3	26	29	899	890	99.0
8 月	3	27	30	899	873	97.1
9 月	3	26	29	870	839	96.4
10 月	3	26	29	899	838	93.2
11 月	2	26	28	870	793	91.1
12 月	3	26	29	899	868	96.6
1 月	3	26	29	899	884	98.3
2 月	3	26	29	812	806	99.3
3 月	3	26	29	899	899	100
合計	35	313	348	10,585	10,281	
平均	2.9	26.1	29		856.8	**97.1**

参考　平成 29 年度の平均充足率は **95.5**%

2　入院の状況（平成 30 年度）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
人数（人）	1	0	3	2	3	3	3	1	1	1	1	0	**19**
延人日（人日）	1	0	31	9	20	31	38	27	15	15	6	0	**193**

参考　平成 29 年度の入院者数は、延べ **27** 人で、延べ日数は **369** 人日

3　入・退居の状況（平成 30 年度）

入居					退居				
在宅	老健	病院	その他	計	死亡	入院中死亡	入院中退所	他施設入所	計
5	1	1	0	**7**	2	1	3	1	**7**

参考　平成 29 年度の入・退居は、**8** 件

4　入居者の介護度（平成 30 年度）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	割合(%)
介護度 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度 3	15	16	16	17	17	16	13	15	15	14	13	12	51.4
介護度 4	8	7	7	5	6	6	8	7	8	8	9	10	25.6
介護度 5	6	6	6	7	7	7	8	6	6	7	7	7	23.0
平均	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	**3.72**

参考　平成 29 年度　平均介護度は **3.73**

5　入居者の年齢構成（平成 30 年度末現在）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	100 歳～	計
人数	0	0	2	3	9	9	6	0	29
割合	0%	0%	6.9%	10.3%	31.0%	31.0%	20.7%	0%	100%

平成 30 年度末の平均年齢は、89.6 歳

参考　平成 29 年度末の平均年齢は、89.6 歳

6　入居者の入居期間（平成 30 年度末現在）

	1 年未満	1 年～	2 年～	3 年～	4 年～	5 年～	6 年～	計
人数	6	6	2	12	3	0	0	29
割合	20.7%	20.7%	6.9%	41.4%	10.3%	0%	0%	100%

7　保険者の状況（平成 30 年度末現在）

	山科区	東山区	左京区	伏見区	上京区	中京区	計
人数	19	5	2	1	1	1	29
割合	61.5%	17.5%	7.0%	3.5%	3.5%	7.0%	100%

○研修受講状況（平成 30 年度）

施設内研修

5 月	勉強会（誤嚥性肺炎・身体拘束）
6 月	勉強会（夜間緊急時対応、食中毒・熱中症・脱水）
7 月	勉強会（口腔ケア）
8 月	勉強会（尿路感染）、自衛消防訓練（昼間想定）
10 月	勉強会（インフルエンザ）
11 月	勉強会（ノロウィルス）
1 月	勉強会（危機管理予測）
2 月	自衛消防訓練（夜間想定）

施設外研修

4 月	市老協（地域貢献会議）
5 月	京都市集団指導、市老協地域貢献プロジェクト、市老協食事部会
6 月	市老協（食事部会・地域貢献会議）
7 月	市老協（食事部会・ケア部会・地域貢献会議）、地域包括ケア会議 OJT リーダー研修、施設長等管理者研修
8 月	OJT リーダー研修、市老協（地域貢献会議）
10 月	介護支援専門員研修、百々学区少年補導委員会、市老協（地域貢献会議）
11 月	京都市認定調査員研修、市老協（区民祭り・食事部会）
12 月	正しい褥創ケア
1 月	リスクマネジメント研修、市老協（食事部会）
3 月	市老協（食事部会・地域貢献会議）

○施設行事実施状況（平成 30 年度）

4 月	外出レク（花見）、おやつレク（おはぎ）
5 月	洋服販売、母の日レク（各ユニット）、五月人形飾り作り
6 月	父の日レク（各ユニット）
7 月	おやつレク、夏祭り、花火レク
8 月	夏祭り、音楽レク、おやつレク（お好み焼き・たこ焼き）
9 月	食事レク（うどん）、敬老会
10 月	外出レク（回転寿司）、洋服販売、音楽レク、おやつレク（クレープ・スイートポテト）
11 月	音楽レク、食事レク（カレー）
12 月	クリスマス会、もちつき大会
1 月	外出レク（初詣）、おやつレク（クッキー・ホットケーキ）
2 月	節分レク、食事レク（餃子）、おやつレク（チョコフォンデュ）
3 月	雛祭りレク、おやつレク（カップケーキ・おはぎ）、洋服販売、誕生日会

➢ 介護老人福祉施設きよみず苑（ショートステイ）

相談員の営業活動強化や併設デイサービスとの連携・人員配置の見直し及び強化などにより、前年度より実績を伸ばす事ができ、年間目標稼動率を上回る結果を出すことができた。また職員間の連携を強化し、年度内で 47 名の新規利用者を受け入れ、継続利用者も増加の傾向にある。

1　利用の状況（平成 30 年度）

	利用者数（人）			満床時延人数（人）	延人数（人）	稼働率（%）
	男性	女性	計			
4 月	9	20	29	300	256	85.3
5 月	9	14	23	310	239	77.1
6 月	12	17	29	300	229	76.3
7 月	11	19	30	310	215	69.4
8 月	11	17	28	310	228	73.5
9 月	13	18	31	300	242	78.1
10 月	12	14	26	310	223	71.9
11 月	17	16	33	300	255	85.0
12 月	14	12	26	310	234	75.5
1 月	12	13	25	310	262	84.5
2 月	11	20	31	280	254	90.7
3 月	9	13	22	310	278	89.7
合計	140	193	333	3,650	2,915	
平均	11.7	16.1	27.8	304	242.9	**79.6**

参考　平成 29 年度　平均稼働率　**64.5**%

2　介護度別の延利用者数（平成 30 年度）

	要支援 1	要支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均介護度
4 月	6	0	26	52	76	92	4	256	2.59
5 月	4	0	26	44	72	93	0	239	2.78
6 月	0	0	17	47	48	94	0	206	2.76
7 月	4	0	19	61	81	50	0	215	2.67
8 月	0	0	30	67	63	68	0	228	2.71
9 月	5	0	34	65	68	67	3	242	2.68
10 月	2	0	17	56	67	63	7	212	2.69
11 月	6	0	15	86	45	93	13	258	2.94
12 月	0	0	14	70	43	96	11	234	2.81
1 月	0	0	13	84	67	87	6	257	2.76
2 月	0	0	27	72	69	70	16	254	2.90
3 月	0	0	35	75	66	87	15	278	2.86
合計	27	0	273	779	765	960	75	2,879	
平均	2.3	0	22.8	64.9	63.8	80.0	6.3	239.9	**2.76**

参考　平成 29 年度　平均介護度　**2.7**

3　利用者の年齢構成（平成 30 年度末現在）

	～64 歳	65 歳～	70 歳～	75 歳～	80 歳～	85 歳～	90 歳～	95 歳～	計
人数	1	5	10	16	27	51	37	18	165
割合	0.6%	3.0%	6.1%	9.7%	16.4%	30.9%	22.4%	10.9%	100%

〇相談援助業務

①入居者・家族との関わり

入居者・ご家族とは、日々コミュニケーションを図り、意向を把握し、入居者一人ひとりに合わせたサービスの提供に努めた。ご家族の来苑時には日々の様子の報告や、ご家族が参加できる行事を企画するなど信頼関係を築けるように心掛けた。

昨年度に引き続き実施した家族様アンケートの結果をフィードバックすると共に、家族様の貴重な意見や思いを真摯に受け止め、次年度に計画に反映させている。

京都市による介護相談員派遣事業の介護相談員２名の受け入れを開始した。入居者やご家族との会話や、入居者の生活の場を目にされた率直な気づきをアドバイスして頂き、入居者やご家族の思い・意向の把握に役立てることができた。

②利用者・家族への援助

入居者及び家族のニーズに沿いつつ、管理栄養士による栄養プランと連動した施設サービス計画を協働で策定し、計画に基づくサービスを提供している。

施設サービス計画が、日々の生活のなかで有効に実施されているか、3 ヶ月ごとにモニタリングを行い、見直しが必要な時は再アセスメントを実施して、適切にケアマネジメントを行った。

③入退居者への対応

入所選考について、受付からの流れを見直し、他職種の意見を反映させた待機者リスト作成を行えるように改革できた。開設当初からの申し込みの見直しと、新しい申し込みを合わせて、緊急性や必要性を優先した選考を行っている。

〇介護業務

①安心、安全な生活の支援。また今までの趣味を継続できる個別サークル活動等への支援

入居者の QOL の向上を目指し､余暇時間を楽しく過ごして頂くためにクラブ活動を予定していたが、入居者様の ADL 低下により、排泄・食事・入浴などの生活支援に介助量が増え、個別の活動として映画鑑賞や園芸などは行うことができてもクラブ活動の発足には至らなかった。

②職員誰もが意見を出し合え、お互いに注意喚起していけるユニット作り

職員配置の差もあるが、業務の合間に職員間で相談し、課題解決ができているユニットと、それができていないユニットがあり今後の課題である。

③利用者の個性を尊重し、その方々に寄り添った支援の提供

交代勤務ができる職員が不足している中でも入居者様に対して丁寧な介護の実践を心がけた。

④質の高いサービス提供と稼働率確保の並立

気づきの記録を増やすことにより入居者様の小さな変化に気づくことができ、医務との連携を円滑に取ることで、異常の発見や早期対応に繋げることができた。

⑤入居者の排泄パターンを把握し、衛生用品のコストダウンの実現

継続して、排泄パターンの把握・対応に努めたが、高齢化・重症化に伴い、介護用品の使用率は少しずつ増加傾向にある。

⑥安全確保について

事故に至る前の小さな出来事を「気づきの記録」と題して提出し、事故防止委員会を柱に事故に繋がる危険リスクを回避する活動を行った。また委員会主体での危機管理予測についての勉強会を実施する事で、事故の件数を減らすことができた。

○栄養管理業務

①栄養ケアマネジメント

日々のミールラウンドにて食事摂取状況、また月に１回の体重測定、３ヶ月に１回の採血にて栄養状態・身体状態の変化を把握し、ケアマネジャーと連携、本人や家族の意向も含め多職種と協議し、栄養状態の維持・向上ができるよう、個別栄養ケア計画書を作成し本人や家族の意向を計画書に反映できるよう努めた。モニタリングは低リスクであっても毎月実施し入居者の状態把握に努め、家族と電話連絡や面会時等に積極的にコミュニケーションを図り、栄養ケア計画書の説明だけでなく日常の食事の様子も伝えた。褥瘡発症者に対しては医師･看護師や介護職員とも密に連携を取り改善することができた。

②食事の提供

餅つき大会など施設行事の際は、本体施設である東旺苑管理栄養士や委託給食会社と協力し、事故や感染症の発症なく安全に提供することができた。ユニット毎のレクレーションでは、衛生面や安全面を考慮したメニューや調理過程を現場へ提案し面前提供の際には行事感を出すためいつも違った雰囲気を作り、厨房と一丸となって盛り上げ、入居者に喜んでもらえる食事を提供した。委託給食会社の予定献立に組み込まれていない行事食は栄養士で調理し提供した。

③情報の共有・提供

東旺苑管理栄養士と毎月給食委員会を開催し、残食量の検証、改善点や提供方法等について検討・情報共有を行い、食事に反映できるよう努めた。嗜好調査の実施・集計を行い、「栄養士だより」にて入居者・家族、各部署へ公表し反映させた。「栄養士だより」やフェイスブック、運営推進会議を利用し家族や外部への情報発信を積極的に実施した。京都市老人福祉施設協議会の食事ケア部会では一年間役員を務め、積極的に運営を行い、他施設栄養士と交流して得た情報や研修にて得た知識を日々の業務に生かした。委託給食会社の食材･献立の総合提案会に参加し新商品等を取り入れ入居者の食事へフィードバッグを行った。食中毒について、施設内研修にて食品衛生指導を実施した。

○健康管理業務

①健康管理について

２名の医師による、特養ユニットごとの回診を１回/月実施。毎月の予定確認のため、診察室壁に白板を設置し、医師にも予定が把握しやすいよう工夫した。

②感染予防と衛生管理について

インフルエンザ・ノロウイルス予防のために、特養各ユニット内・デイサービス・ラウンジ・クリニックにウイルレスウォーター噴霧器を除菌目的で設置し活用を行った。

全国レベルでインフルエンザが大流行したが特養入居者の感染者はゼロ。

４月～６月、11 月～12 月にかけて健康診断を実施(介護職員のみ腰痛健診を含む)。

③リスクマネジメントについて

委員会を通して服薬マニュアルの見直しを実施した。

➢ デイサービスセンターきよみず苑

職員の入退職が相次ぎ現場の意思統一が図れなかった事や冬場のインフルエンザ流行などがあり上半期は順調であった稼働率が 2 月に大きく低下した。しかし、当センターがショートステイと併設されている事が周知され今後の利用を視野に入れた、きよみずデイの利用をしたいと言うニーズが増加してきており、ショート利用者が他施設に流れることなく法人の利用者確保に繋がった。

平成 31 年度も引き続き総合福祉施設の強みを打ち出した利用者確保を目指す。

1　利用の状況（平成 30 年度）　　(　)内はサ高住入居者

	開所日数(日)	利用者数(人)	延べ利用者数(人)	1 日平均利用者数(人)
4 月	25	69(10)	519(86)	20.8(3.4)
5 月	27	72(11)	540(85)	20.0(3.1)
6 月	26	70(11)	499(85)	19.2(3.1)
7 月	26	74(12)	550(101)	21.2(3.9)
8 月	27	72(12)	559(105)	20.7(3.9)
9 月	25	74(12)	526(94)	21.0(3.8)
10 月	27	73(12)	572(110)	21.2(4.1)
11 月	26	74(11)	535(98)	20.6(3.8)
12 月	25	73(10)	544(92)	21.8(3.7)
1 月	24	73(10)	511(88)	21.3(3.7)
2 月	24	66(10)	459(82)	19.1(3.4)
3 月	26	70(13)	520(104)	20.0(4.0)
合計	308	860(134)	**6334(1130)**	**20.6(3.7)**

参考　平成 29 年度の延利用者数は **6277(955)**、1 日平均利用者数は **20.3(3.1)**

2　介護度別の延利用者数（平成 30 年度）　　（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
介護 1	99	95	78	98	106	95	95	81	64	68	66	67	84.3
介護 2	128	138	133	135	132	135	166	177	203	184	166	174	155.9
介護 3	165	173	165	198	188	187	190	170	173	165	134	163	172.5
介護 4	44	38	35	37	50	32	27	21	16	17	13	28	29.8
介護 5	16	16	17	10	13	13	19	10	20	18	13	19	15.3
計	452	460	428	478	489	462	497	459	476	452	392	451	458
支援 1	12	15	16	17	19	16	18	17	16	12	12	12	15.1
支援 2	47	53	55	55	51	31	51	43	52	47	47	57	49.0
申請中	8	12	0	0	0	17	6	16	0	0	8	0	5.5
計	67	80	71	72	70	64	75	76	68	59	67	69	69.8
合計	519	540	499	550	559	526	572	535	544	511	459	520	527.8
平均介護度	2.24	2.25	2.25	2.22	2.24	2.23	2.21	2.19	2.19	2.23	2.14	2.25	
稼働率(%)	83.0	80.0	76.8	84.6	82.8	84.2	84.7	79.3	87.0	85.2	76.5	80.0	**82.0**

参考　平成 29 年度の平均稼働率は、**81.3** ％

3　研修受講状況（平成 30 年度）

5 月	誤嚥性肺炎について、人事考課について
6 月	脱水・熱中症・食中毒について
7 月	口腔ケアの重要性
8 月	尿路感染症について
10 月	インフルエンザについて
11 月	ノロウイルス、接遇
1 月	白癬・褥瘡
2 月	利用者人権のための法令遵守・身体拘束・虐待
3 月	リスクマネジメント

➢ ヘルパーステーションきよみず苑

サービス付き高齢者向け住宅への入居者増加と入居中の方の利用開始、外部派遣 1 件の開始により実利用者数は増加したが、訪問総件数は昨年度に及ばなかった。これは訪問回数の多かったサ高住の入居者の退居が主な原因である。3 月年度末の入居者 31 名中ヘルパーを使用されている方は 25 名で（うち 1 名自費のみ）全入居者の 81%の割合になっている。体調不良が見られる方にはケアマネジャーやクリニックと相談し、訪問回数増加に繋がっている。

入居者の増加に伴い、ニーズに合うように臨機応変に対応し、定期的に行っている行事も定着し、今後も入居者の生活環境の向上と健康状態の維持を目標に取り組んでいく。

1　介護度別利用者数（平成 30 年度）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要支援 1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
要支援 2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
要介護 1	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	3	27
要介護 2	7 (1)	7 (1)	7 (1)	7 (1)	6 (1)	7 (1)	6 (2)	6 (2)	7 (2)	6 (2)	6 (2)	7 (2)	79 (18)
要介護 3	8	8	7	8	9	9	11	11	10	11	10	11	113
要介護 4	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20 (1)	20 (1)	20 (1)	22 (1)	22 (1)	23 (1)	24 (2)	24 (2)	23 (2)	23 (2)	22 (2)	25 (2)	**268** (18)

参考　平成 29 年度 延利用者数　**239**（31）　　（　）内は外部派遣数

2　月別派遣数（平成 30 年度）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要支援	要支援 1	4	6	8	8	9	9	7	9	9	7	8	9	93
	要支援 2	4	5	4	9	9	8	9	8	9	8	8	8	89
	合計	8	11	12	17	18	17	16	17	18	15	16	17	182
要介護	身体介護	111	65	88	97	108	99	105	100	106	103	99	86	1167
	生活介護	78	74	72	72	74	69	94	92	87	83	74	87	956
	身体生活	15	17	19	19	24	21	19	23	13	15	16	14	215
	合計	204	156	179	188	206	189	218	215	206	201	189	187	2338
計		212	167	191	205	224	206	234	232	224	216	205	204	2520
介護保険外		41	39	39	40	39	38	42	37	41	37	39	69	501
総合計		253	206	230	245	263	244	276	269	265	253	244	273	**3,021**

参考　平成 29 年度　総派遣数　**4,613** 件

3　自費対応の利用者数および入院・新規・中止者数（平成 30 年度）　（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
服薬管理	4	4	5	4	5	5	5	5	4	4	4	4	53
ラウンジ送迎	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	1	21
配膳	0	0	0	1	1	1	1	1	2	3	4	4	18
通院	2	1	3	2	2	0	3	2	1	1	4	2	23
洗濯	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	7	51
自費（家事）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
自費（身体）	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
入院	1	2	1	0	0	1	0	0	1	1	1	1	9
新規	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3	7
中止・死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

＊入院は、入院により 1 ヶ月間利用の無かった利用者のみ

➢ ケアプランセンターきよみず苑

今年度は 9/15 付けで担当職員の退職があり、10/16 より新人ケアマネジャーが異動配属となった為、当センター内での引継ぎが出来ず、9 月度実積より 20 名の利用者を他事業所に移管することとなった。新規利用者を受け入れるが、1 月以降は入院者増加と、定期の老健入所者により給付管理数は低下した。

サービス付き高齢者向け住宅に関して、他府県からの入居者は、事前に他府県保険者との調整も行っている。又、認定調査代行申請や相談にも対応し信頼関係の構築に努めた。サ高住入居後に転倒骨折で入院された方が 2 名おり、病院との連携、重度化してもサ高住で対応する方策を在宅サービス部として調整している。開所当初からの入居者は、認知症進行や下肢筋力の低下が増え介護の頻度が増えているが、ヘルパーステーション、クリニックとの連携のもと長期入居を可能にすることに取り組んでいる。

外部利用者も給付管理対象である為、地域包括支援センターより定期的に紹介してもらっており、関係性を密にする為、地域各種団体とも協力をして地域連携を今後も深めていく。

また、本年度の介護保険法の改定で必須となった居宅介護支援事業所管理者の主任介護支援専門員資格について、当センター管理者が所定研修を受講し 9 月に当該資格を取得した。

1　介護度別の給付管理数（平成 30 年度）

（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
介護 1	15	14	14	14	14	5	5	4	5	6	6	6	108
介護 2	14	16	17	17	17	10	11	11	12	10	10	14	159
介護 3	24	22	21	20	18	18	20	19	18	15	13	13	221
介護 4	8	7	8	7	8	4	4	4	4	4	4	4	66
介護 5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
計	62	60	61	59	58	38	41	39	40	35	33	37	**563**
平均介護度	2.45	2.42	2.43	2.39	2.40	2.63	2.63	2.67	2.60	2.32	2.28	2.25	**2.48**

参考　平成 29 年度の給付管理数合計は、**697** 件。　平均介護度は、**2.47**

2　介護予防受託数（平成 30 年度）

（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
計	3	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	**56**

参考　平成 29 年度の受託数合計は、**36** 件

3　研修受講状況（平成 30 年度）

施設外研修

4 月	やましな認知症サポート連絡会 山科区介護支援専門員連絡会
5 月	京都市集団指導
6 月～9 月	主任介護支援専門員研修（事業所管理者）
6 月 7 月 2 月	地域ケア会議
10 月	福祉フェア（勧修地域包括支援センター主催）
12 月	高齢者虐待研修
2 月	利用者人権の為の法令遵守研修（法人合同研修）
3 月	リスクマネジメント研修（法人合同研修）

➢　きよみず苑クリニック

2 名の医師による、特養ユニットごとの回診を 1 回/月実施。毎月の予定確認のため、診察室壁に白板を設置し、医師にも予定が把握しやすいよう工夫した。

インフルエンザ・ノロウイルス予防のために、特養各ユニット内・DS・ラウンジ・クリニックにウイルレスウォーター噴霧器を設置して除菌目的で活用を行った。

1　職員健診について

4 月～6 月　春の健康診断実施（51 名）。介護職員のみ腰痛健診含む

11 月～12 月秋の夜勤者対象健康診断実施（14 名）。腰痛健診含む

2　受診状況（平成 30 年度）

	受診件数（サ高住）	受診件数（SS・DS）	受診件数（職員）	特養	請求件数
4月	13	0	3	28	44
5月	12	0	3	28	43
6月	14	0	5	29	48
7月	14	0	5	28	47
8月	14	0	6	27	47
9月	14	0	4	29	46
10月	15	1	4	26	46
11月	15	0	3	26	44
12月	14	0	4	26	44
1月	16	0	4	29	49
2月	15	2	5	27	49
3月	15	0	10	29	54
合計	171	3	56	331	**561**

平成 30 年度の月平均請求件数は **46.8**

参考　平成 29 年度の月平均請求件数は **44.3**　　総請求件数は **532**

➢ サービス付き高齢者向け住宅　きよみず苑・京都東

平成 30 年上半期は新規入居 4 件あるも、退居も 2 件(骨折による身体機能の低下 1 件、経済的理由 1 件)あり一進一退で苦戦を強いられた。入居契約に至るまでの過程分析をすると受入れに慎重になり過ぎていた面があり、下半期からは入居選考を見直した結果、入居 4 件、退居 1 件(死去)となり、本年度の最終入居室数は 30 件を確保することができた。

また、入居者募集広告について、費用対効果の高いものだけを継続し支出の見直しを図り、今後は必要な部分に重点的に力を注いだ施設広告を打ち出していく。

平成 31 年度も入居の問い合わせには素早く対応し目標入居室数の獲得を狙うとともに、サ高住入居者の生活環境の向上や重度化に対する種々の取組をおこなっていく。

1　入居の状況（月末の契約数）

	入居室数(月末)	新規入居室数	退居室数	入居者数(人)		
				男性	女性	合計
4 月	26	1	0	6	21	27
5 月	26	1	1	6	21	27
6 月	27	1	0	7	21	28
7 月	28	1	0	7	22	29
8 月	27	0	1	6	22	28
9 月	27	0	0	6	22	28
10 月	27	0	0	6	22	28
11 月	28	1	0	6	23	29
12 月	28	0	0	6	23	29
1 月	29	1	0	7	23	30
2 月	29	1	1	7	23	30
3 月	30	1	0	7	24	31

平成 30 年度　平均入居者数 28.6 人、新規入居室数 8、退居室数 3

参考　平成 29 年度　平均入居者数 25.0 人、新規入居室数 8、退居室数 4

2　入居者の年齢構成（平成 30 年度末現在）

年齢	~64 歳	65 歳~	70 歳~	75 歳~	80 歳~	85 歳~	90 歳~	95 歳~	100 歳~	計
人数	0	1	1	3	2	9	13	2	0	31
割合(%)	0	3.2	3.2	9.7	6.5	29	41.9	6.5	0	100

平成 30 年度末の平均年齢は、87.2 歳

3　入居者の介護度　（平均介護度は認定者のみで算出、要支援１を 0.5　同２を 0.8 で換算）　（人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	割合（%）
自立	2	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	2	24	6.9
要支援 1	5	6	6	6	5	5	5	5	5	4	4	4	60	17.5
要支援 2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34	9.9
要介護 1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	39	11.4
要介護 2	6	6	6	6	5	5	4	5	5	4	5	5	62	18
要介護 3	9	8	8	8	9	9	11	11	11	12	11	12	119	34.6
要介護 4	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6	1.7
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	27	27	28	29	28	28	28	29	29	30	30	31	344	100
平均介護度	1.96	1.83	1.79	1.79	1.88	1.88	1.88	1.88	1.88	1.9	1.9	1.91	**1.87**	

参考：平成 29 年度平均介護度は、**1.99**

4　行事・レクリエーション 実施状況（平成 30 年度）

〇外出行事　　4 月　お花見ツアー（宝ヶ池方面・三田屋にて昼食）
　　11 月　紅葉狩り（将軍塚青龍殿、ウェスティン都ホテルにて昼食）

〇毎月の定例レク　・第一木曜日　たちばな健康体操
　　・第二月曜日　マツヤスーパー買い物
　　・第三木曜日　脳トレーニング（ゲーム・物作り）
　　・第四木曜日　映画鑑賞会
　　・月１回　管理栄養士によるクッキング教室や喫茶など
　　・その他　セブンイレブンの苑内出張販売など

➢　法人合同研修会

実施状況　（平成 30 年度）

開催月	研　修　名	講　師	参加人数
5 月	人事考課と人材育成（全役付職員対象）	統括施設長	22 名
11 月	ビジネスマナー・接遇	事務長	55 名
2 月	身体拘束と高齢者虐待、法令遵守と権利擁護	外部講師	51 名
3 月	リスクマネジメント(事故対応と予防)	外部講師	50 名